

事業所名

放課後等デイサービス 北陽

支援プログラム

作成日

6 年

12 月

20 日

法人（事業所）理念		将来の自立性・自主性に備えを基本とし、ただ遊ぶ時間を過ごすのではなく、その子供のできることを増やしひろげる、そのための力を引き出すために日々の活動で療育することで、その人らしさ、障がい児者の尊厳ある生活や生活能力の向上、社会との交流を図り、障がい児者の身体、精神の状況、その置かれている環境に応じて効果的な指導、訓練を行い、障がい児者がその力を身に着けられるように、養い育てることを目標とします。					
支援方針		サービスの評価をするのは、サービスを提供する私たち（事業者）ではありません。利用者、ご家族、関係機関、客観的に支援の内容及び活動を見られた方々や地域の方々です。常に謙虚に利用者やご家族、地域の方々に学び「その子らしく地域や社会の中で快適に暮らす」支援を目指します。					
営業時間		9 時	00 分	17 時	00 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	定期的な通所で生活リズムの安定をはかり、家庭ないでも実践できる方法などを伝えていきます。 衣食トイレなど、身の回りの準備や整理整頓が自主・自立に繋がるように練習していきます。 特性に合わせ絵やカード提示しながら活動していきます。					
	運動・感覚	毎週水曜日、体育館でサーキット遊び 毎週金曜日リズム遊び（事業所内）月1回コア体操（専門講師）において身体機能の安定や向上、集団活動に慣れ楽しむことができるように練習していきます。					
	認知・行動	始まりの会にて、天気、日付の把握と確認による、感覚・数の認知形成の練習 一日のタイムスケジュール（全体用・個別用（カードなど））の確認による時間の認知形成と見通しを立てる（切替）練習 遊びを通じ、順番や物事の後先などのとらえ方を変えたり（融通をさかす）感覚、認知へのリフレーミングの練習（ソーシャルスキル・アサーション）					
	言語 コミュニケーション	毎週月曜日イングリッシュ遊び（専門講師）で異文化へ興味をもち言語に慣れ楽しむ練習。 終わりの会にて振り返りを行い、気持ちや頑張ったことなどをプレゼンテーションし人前で緊張せず発表する力をつける練習 言葉の使い方（相手へ嫌な気持ちにさせない）や、相手と楽しく関わる（遊ぶ）練習					
	人間関係 社会性	自由遊びではルールの中で遊び方を考えながら、見立て、つもり、ごっこ遊びや一人遊び、並行遊び 連合・共同遊びの練習 年1回イングリッシュ遊び、サーキット遊び、リズム遊び、コア体操これらの活動で日頃の頑張りを保護者、各児童の学校担任の先生、関係機関を招き発表会を開催し披露することで達成感や自尊心を高め認めることに繋げる取り組みを行っています。					
家族支援		子育てや発達に関する相談援助（きょうだいを含む） レスパイト、就労等の預かりニーズに対する支援。保護者同士の交流の機会や子育ての成長が感じられる行事への参加 子育てや障がいに関する情報提供。			移行支援		学校（進学先含む）就労先との情報共有 環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		各関係機関との連絡等情報共有・ケース会議等の連携・学校個人懇談（学校側の同意が得られた場合）市内外福祉事業所との連携・放課後等デイサービス連絡協議会への参加			職員の質の向上		採用時研修 内外部研修（専門研修）（感染症・虐待等）
主な行事等		各季節・イベント（田植え・稲刈り・いちご狩り）散策 クッキング 制作（自由研究含む）お誕生日会 外出レク（買い物・外食公園・工場見学・図書館・公共施設見学）北陽発表会					